

きよなん 議会だより

令和5年10月20日発行

第149号



令和5年9月定例会・・・2

5議員が町政を問う・・・4

決算審査特別委員会・・・10

令和元年の台風で中止以来、5年ぶりの保田地区祭礼



全員賛成で 補正予算等を可決

令和5年第5回定例会を、9月5日から9月15日までの11日間の会期で開催しました。規約の変更と一部改正1件、事務委託の協議1件、水道事業会計に関する処分、補正予算4件の審議を行い、原案の通り全員賛成で可決しました。

令和4年度の決算認定は、9月11日に決算審査特別委員会を開催して審議を行った結果、全員賛成で全件認定されました。
一般質問には5名の議員が登壇しました。

協議

◆ 鋸南地区環境衛生組合の共同処理する事務の変更及び鋸南地区環境衛生組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議。

◆ 南房総市と鋸南町のし尿及び浄化槽汚泥の処理の事務委託に関する協議。

一般会計補正予算

〈主な歳出補正〉

- ◆ 旧佐久間小学校校体育館屋根修繕工事 275万円
- ◆ 介護保険特別会計繰出金 2028万2千円
- ◆ 道の駅きよなん観光物産センター改修設計業務委託 560万円

質疑

問 観光物産センター改修設計業務委託560万円の内容は。

答 道の駅きよなん観光物産センターの改修は、外壁や屋根部分、新たに駐車場との間にひさしを設置したいと考えています。事業者の選定については、公募型プロポーザル方式により、実施していきたくと考えておりますので、より良い物産センターにしていくため、事業者の提案を参考に、設計を進めていく考えています。

問 道の駅きよなん全体のデザイン、イメージを含め、どのようにしていくのか。将来的な全体像も含め、提案してもらうべきでは。

答 観光物産センターの他、歴史民俗資料館、中央公民館、情報センターヴィラ、観光トイレ、駐車場の施設で構成された道の駅です。

観光物産センターの改修についても、他の施設と調和がとれて、一体的な施設になるような改修に取り組んでいきたいと考えています。



改修が待たれる道の駅きよなん

令和5年第4回臨時会

◆ 工事請負契約の変更
(都市交流施設周辺整備工事)

資材価格高騰により、現契約金額に1296万8621円を増額し、7億46万8621円を契約金額とする変更。

【令和5年9月補正予算】

会計		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		45億6186万5千円	1億3844万4千円	47億30万9千円
介護保険特別会計		14億5898万2千円	7434万6千円	15億3332万8千円
病院事業会計	資本的収入	8071万0千円	1240万0千円	9311万0千円
	資本的支出	8071万0千円	1240万0千円	9311万0千円
水道事業会計	収益的収入	4億8969万6千円	279万9千円	4億9249万5千円
	収益的支出	4億7711万5千円	73万8千円	4億7785万3千円

本会議での 議 決 結 果

賛成「○」 反対「×」 ※議長は採決に加わりません

番号	件名 (件名は一部省略)		鈴木辰也	緒方猛	青木悦子議長	大塚昇	竹田和明	早川正也	笹生あすか	秋山柳三	柴本健二	中村基	篠宮真樹	東愛乃
----	-----------------	--	------	-----	--------	-----	------	------	-------	------	------	-----	------	-----

◆令和5年第4回臨時会

＜契約変更＞

議案第1号	工事請負契約の変更（都市交流施設周辺整備工事）	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	-------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

◆令和5年第5回定例会

＜変更に関する協議＞

議案第1号	鋸南地区環境衛生組合の共同処理する事務の変更及び鋸南地区環境衛生組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	南房総市と鋸南町のし尿及び浄化槽汚泥の処理の事務委託に関する協議	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

＜令和5年度補正予算＞

議案第4号	一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	鋸南病院事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

＜決算の認定＞

議案第3号	令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和4年度一般会計歳入歳出決算	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和4年度鋸南病院事業会計決算	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度水道事業会計決算	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ここが聞きたい いっぱん質問



鈴木辰也議員

- ① 人口問題について
- ② 行政サービスについて



竹田和明議員

- ① 土地利用について
- ② 観光振興について
- ③ 子ども・子育てについて



東愛乃議員

- ① 剪定枝・刈り草のリサイクルについて

5議員が 町政を問う！

動画はこちら↓



中村基議員

- ① 「都市交流施設及び周辺整備事業等」の社会資本投資結果について
- ② 旧佐久間小学校の跡地利用について



笹生あすか議員

- ① マイナンバーカードについて
- ② 情報発信・伝達について

一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し施政方針や事務の執行状況を聞き、疑問点を質(ただ)すものです。紙面の都合上概要を掲載しています。



竹田 和明 議員

問 アフターコロナでの人口増加策は

答 全庁連携して取り組みます

土地の有効活用策

人口減少が著しい中、アフターコロナでの人口増への構造的な変革が必要だ。3つのテーマにしぼり質問する。

問 魅力のある土地活用が重要である中、農地、山林が放置されているが、その活用は。

答 土地の放置は地域経済や住民の生活に悪影響を及ぼす

可能性があり、その有効活用は重要です。一方、農地法や県の森林計画など、土地利用に対する規制があり、現実的には実施が難しいとの認識です。

問 農地を求めて移住したいという声を聞く。農地の活用

を町が主体的に計画して知事の許可を得ることで、農地法の特例が可能となる法律もあるが、町の意向はどうか。

答 法律があることは承知して

いますが、活性化計画に定めた活性化事業を実施する土地が対象のため、土地の集約が課題です。一方今年4月から農地法が改正され、農業利用の目的で取得する場合は、農地面積に関係なく、農地の取得が可能となりました。

観光振興策

問 観光は町の魅力を実際に体験してもらうことで、

移住定住に繋がる。「交流人口」についての町の考え方は。

答 観光目的の交流人口が増えれば、町に協力してく

れる「関係人口」が増え、ひいては移住者の増加につながると考えています。

問 客単価の増加は重要な課題と考える。都市交流施設を拡張しても客単価の増加に

繋がらないと思うが、客単価の改善を図るためにどのような検討を行っているか。

答 平日の宿泊客を増やすこと

とが客単価の改善につながりますので、指定管理者と共に検討し改善を図ります。

問 「スポーツツーリズム」について、大勢の大会参加者の

宿泊施設が不足するなどの問題をどう考えるか。

答 町内のスポーツ施設を利用

して来客を増やすことについては、前向きに取り組んでいきます。

子ども・子育て支援策

問 子どもを産み育てる若者を増やさなければ町の人口増

に繋がらない。子育て支援の取り組み状況、今後の計画はどうか。

答 現状としては、通学助成金

事業、子育てイベントの実施、保育所・幼稚園園庭の開放、家庭教育相談員の配置、一時預かりや学童保育事業、結婚新生活支援事業、病児病後児保育事業、子ども医療費助成事業、出産子育て応援給付金事業、乳児家庭への紙オムツ等の支給事業、保健師・看護師の訪問事業などに取り組んでいます。

今後は、奨学金の一部支援事業や、一時預かり・学童保育の時間延長などを検討しています。



保田小拡張事業のプレイカフェの遊具

問 「攻めの福祉」「打って出る福祉」への転換は

答 対象者に必要な支援が届くよう努めます

鈴木 辰也 議員



人口問題について

問 人口推移の社会増減（転入転出）では、近隣市への転出が目立つが、町はこのことについてどのように分析しているか。

答 アンケートの結果を見ると、八割以上の方は、鋸南町に愛着を感じているが、様々な理由で転出していると考えています。

問 交流人口から関係人口にどのように繋げ、定住人口を増やしていくのか。

答 今後、総務省のアドバイザー制度を活用した地域力創造アドバイザー・地域活性化起業人・地域おこし協力隊でグループを組み、関係人口につなげる施策を行い、移住定住に繋げていくよう努力します。

行政サービスについて

問 行政サービスを受けるためには、サービスの利用に本人や家族からの自主的な申請が必要だ。申請主義に基づくサービスの利用においては、利用者が必要

なサービスを選択し、利用の希望を表明しなければならない。高齢化率49.55%と超高齢化社会の鋸南町では、申請主義が「受身の福祉」「待ちの福祉」と言われることについての町の考えは。

答 高齢者にとって各種手続きは、面倒であったり、理解しづらい申請手続きがあります。介護事業所・ケアマネージャー等関わっている方々に、情報を周知し、何らかの方法で積極的にアプローチできるような姿勢で臨んでいきます。

問 「攻めの福祉」「打って出る福祉」への転換が求められているが、町としての考えは。

答 対象者に必要な支援が届くように努めていきます。

問 在宅介護用品給付事業の制度が利用者にとって利用しづらい点があるが、制度の見直しができるか。

答 多様なニーズもあるので、来年度に向けて制度のあり方等を検討中です。できるだけ利用者の考えに沿えるような支給ができるように考えています。

問

10月から始まるAIオンデマンド交通・予約制の乗合送迎サービスの実証運行の成功の鍵は、事業が始まるまでに出来るだけ多くの町民に分かりやすく情報を届けることだと考えるが、町の考えは。

答 実証運行の成功の鍵は、いかに多くの方に知ってもらうことが一番重要だと考えています。民生委員さんの会議、各地域で行っている地域介護予防教室等で説明します。また、町報きよなどに別刷りでチラシを入れたり、様々なメディアでお知らせします。



10月から運行のAIオンデマンド交通車両

東 愛乃 議員



問

循環型社会を目指し
剪定枝・刈り草のリサイクルを！

答

費用対効果を考慮し、現時点では困難

可燃ゴミの1割強が木・竹・わら類であり、県平均よりも多く焼却されているが、堆肥化や木質バイオマス発電やゴミの減量に取り組みについて問う。

問

令和9年から君津地域広域廃棄物処理事業への参加が決まっているが、大谷の中継施設から新施設建設地である富津市への運搬コストは、今と比較してどうか。1日、何台のコンテナ車が往復するのか。指定ゴミ袋の値上げは？

答

コンテナに積み替え広域ゴミ処理施設に運搬する際の運転手の人件費、車両の燃料費、有料道路の使用料が想定される新たなコストです。現在の推計では、1年間の運搬コスト約3300万円、南房総市と共に負担する中継施設の経費が年間約800万円となる見込みです。
週5日、1日6台の10t大型コンテナ車が往復する予定です。
指定ゴミ袋は現在の負担と同程度を基本として検討します。

問

木の枝・刈り草・葉のリサイクルには取り組まないうのか。また、処分困っている人へのサポートはあるか。例えば、運搬サポートや小型ウッドチップの無料貸出など。

答

粉碎機やストックヤードなど、それなりの設備投資が必要となるため、費用対効果を考慮した場合、現時点での実施が困難であると考えています。
本年度より公益活動を行う、町内の団体、例えば行政区など環境美化活動を行う際には、公用車、軽トラック、ダンプの貸し出しを行っています。また小型ウッドチップの貸し出しは現在行っていませんが、県内でも貸し出しを行っている自治体もあるようなので、検討していきます。



問

木質バイオマスエネルギー循環システム等の検討状況は。

答

循環型社会を形成していく上で、必要不可欠であると認識しています。しかし研究していくと、高額な初期投資が必要となる他、様々な課題があり検討が進んでいないのが現状ですが、脱炭素社会への取組は、今後も重要な取組であると認識しています。他の自治体の事例などを参考に引き続き研究します。

問

温室効果ガスであるCO2が運搬・焼却時に排出されるので、町としてゴミの減量対策をしないのか。

答

ゴミの減量化を各家庭、また一人一人が意識していただけるように、広報誌等を通じ周知を図っていきます。



ウッドチップパー

問

佐久間小跡地利用、地域の声を「実現」へ

答

防災拠点・祭礼スペースとして整備に入る

中村 基 議員



未来に向けて、投資効果を捉える「鋸南町独自の仕組み」を作り上げることについて

問

鋸南町では「道の駅保田小」や、「付随する大広場（旧幼稚園）」等、町の活性化や集客拡大を図るための積極的な投資を行っている。

しかしながら、その成果を誰もが判るように評価出来る仕組みに乏しく、町民に対する業績的説得力にも、今一つ欠けていると感じる。

今後の投資を行うにあたり、過去の実績を正しく評価し、将来に向けた確かな意思決定ができる「羅針盤」が不可欠だ。

そのためには、「インフラへの投資効果」を継続的に捉える事の出来る仕組みを作るべきだ（町の発展に寄与）。

具体的には、オリンピックや万博投資の様に、例えば、道の駅保田小が、鋸南町の産業・生産者・消費者にどれだけの波及効果をもたらしているかを、まず「経済効果」として、金額で捉える事

であり、更にそこに留まらず、お金では表せない「活力度・満足度」の様な、地域の方々の精神的な充実度や「全国の人気・周知度」といった、他地域からの評価をも加えた、「鋸南町独自の総合評価」を作り上げることだと考えるが、行政の見解は。

答

「経済効果算出」は初めての試みで難易度は高いが、他の自治体取り組み事例を参考に、世代や官民の立場を超えた研究チームで課題を洗い出しながら進めていきたいと考えます。社会資本の評価は、金額のみに限定するのではなく、総合的に見るべきとの考え方も議員と全く一緒なので、全体を進めるにあたり、協力をお願いします。

旧佐久間小学校跡地に

新たな役割を

問

旧佐久間小跡地利用について、過去のアンケートやシンポジウムの意見を整理すると、「防災拠点」と「佐久間祭礼時の活用」が上位だが、将来構想も含めた行政の見解は。

答

住民からは、町の管理による、安心安全を第一に考えた利活用を望む声が多いです。今後も地域の方々の意見を丁寧に聴きながら全体構想を固めていきますが、まずは「グラウンドを整備」し、「ドクターヘリの発着場」と「佐久間祭礼時の屋台の引回し」が出来るようにします。そのために、グラウンドの土壌を改良する必要があり、議員から提案のあった方法も含めて、地元の方々や設計事業者とも相談して進めていきます。なお、防災拠点の構築に向けて、まずは9月補正予算で、体育館屋根を修理し、備蓄倉庫及び災害時の物資集積場として活用する方向です。

要望

一歩ずつ先が見えてきた感がありますが、更に佐久間小全体構想を進めていく中で、要望の多かった「屋根のある避難施設」として、汎用性のある「プレハブ設置」も提案したい。これであれば、費用も最小限で済み、他の要望（休憩所・加工所等）への転用も可能だ。小さく始めて、大きく育てる。官民一体でひとつずつ進めていきたいと思います。



笹生 あすか 議員

問 保険者として今後求められる対応は

答 関係機関と連携し体制整備を進めます

マイナンバーカードについて

問 全国でマイナンバーカード（以下「カード」）のトラ

ブルが続いており、町民から不安な声が届いている。カードの保有状況は。

答 令和5年7月末時点で、全国の保有率は71%、町の保有率は76%で全国1741市町村のうち393番目です。また、千葉県54市町村のうち3番目です。

問 医療機関を含め、トラブルや問い合わせはあるか。

答 情報のひも付けや、国民健康保険、後期高齢者医療保険共にトラブルはありませんが、医療機関で顔認証用のカメラ位置が適切でないなどの不具合があると聞いています。

問 保険者として今後求められる対応は。

答 カードを所有していない方が引き続き、安心して医療機関を受診できるよう関係機関と連携し、体制整備を進めます。

問 寝たきりの方など、顔認証ができない場合の対応は。

答 寝たきりの方など、顔認証ができない場合の対応は。

問 国は令和5年8月に福祉施設や支援団体向けのカード取得と管理に関するマニュアルを作成しています。寝たきりの方などに対するカード管理の注意点が示されていますが、利用時における顔認証については、検討中なので注視していきます。

答 答弁の中で「担当職員のさらなる事務負担増が見込まれる」とあり心配している。現在の状況はどうか。

問 担当職員と一部室長が従事していますが、現状では制度改正による時間外勤務は増えていません。

問 鋸南町は、コンビニでの住民票の写し等の交付は、費用対効果を考え、導入していないと以前説明を受けた。費用はどのくらいかかるのか。

答 住民票等の交付にかかる費用について試算したところ導入時の初期費用が約450万円。継続的にかかる費用は年間約270万円。年間発行枚数のうち、約20%をコンビニ交付と試算すると、1件あたり約3000円

意見 かかるといふ結果になりました。マイナンバーカードは任意であり、行政サービスは多様なニーズに対応し「誰のことも取り残さない」ものとして、デジタルとアナログ両方必要だと考える。現行の紙の保険証を廃止しないで欲しいとの声を国にも届けて欲しい。

情報発信・伝達について

問 町の情報発信について、手段などの現状は。

答 広報紙「町報きよなん」「お知らせ版」の発行、町ホームページ、新聞紙上、月2回の回覧等の配布物、各種会議での伝達、防災行政無線による音声放送などを行っています。また、LINE、防災行政メール、Facebook、エックス等も運用し、利用できるメディアを駆使し情報発信に努めています。



↑町公式 LINE の登録はこちらから

査特別委員会報告～

令和4年度の一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・鋸南病院事業会計・水道事業会計は、議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（鈴木辰也委員長）で審査された。一般会計については、歳入総額は54億8723万4千円、歳出総額は51億5248万円で、実質収支額が、2億6362万2千円となった。令和4年度各会計について審査をし、採決を行った結果、令和4年度決算について全員賛成で認定すべきものと決定した。

水道事業会計の

未処分利益剰余金の処分

問 資本金に組入れた内容は。

答 利益剰余金から資本的収入と支出の差額を補填した分です。

一般会計決算の 主な質疑

【総務企画課】

問 光熱水費等需用費の予算未使用額496万円の理由は。

答 契約の随時見直しと、年度中に庁舎全体をLED化したためです。

問 豊かなまちづくり寄付金に対する返礼品目数の変

化と内容は。

答 51品目増え121品目となりまりました。

問 循環バス増便の内容は。

答 令和5年1月から3月、花の時期に1日1便増やしました。

問 防災備蓄費76万円は食料と水の在庫が増えたということか。

答 消費期限切れ分の更新分で在庫総数は町民の1割3日分で変わりありません。

問 生活路線バス維持補助金の増加理由は。

答 燃料費の高騰に対する補助として534万8千円増加しています。

問 通学支援金対象者が予算10名に対し、実績4名と少ないが、理由は。

答 理由は不明ですが、令和5年度は情報発信の結果9名となっております。今後も施策の拡大を検討します。

【税務住民課】

問 転入者204人はエリア別に見るとどうなっているか。

答 竜島地区25%で一番多く、次いで下佐久間と保田地区です。

【保健福祉課】

問 訪問看護終了に伴い、職員数の変化は。

答 4名のうち2名退職、2名は現在保育所と保健福祉課勤務です。

【地域振興課】

問 有害鳥獣対策協議会と鳥獣被害対策実施隊への委託の使い分け基準は。

答 有害鳥獣対策協議会は銃とワナ、鳥獣被害対策実施隊は銃のみで捕獲しています。



檻を尻目に、自由に闊歩するイノシシ

～令和4年度決算審

問 都市交流施設・道の駅保田小学校のレンタサイクル利用実績は。

答 延べ120台を貸し出し、17万3千円の収入です。

問 元名採石場跡地使用料の内訳は。

答 1日当たり10万円で、35団体6日間利用がありました。

問 地域商品券の年2回使用率は。

答 1回目が98・6%、2回目は98・3%でした。

問 佐久間ダムのカンパ場利用者実績は。

答 令和3年が188件、令和4年が264件です。

問 利用者を増やすためにカンパ場を毎年開設できないか。

答 桜・水仙のイベントと重なるのが難しいが検討します。

【建設水道課】

問 補助対象の家庭用合併処理浄化槽の種類、予算での数量、及び補助金の有無は。

答 補助対象の家庭用合併処理浄化槽の種類、予算での数量、及び補助金の有無は。

問 BOD処理率の高い高度処理型であり、補助金は国県から受けており、年間6基を見込んでいます。

答 今後、普及率は上がっていくか。

問 新築・改築は設置が義務化されているので、上がると思っています。

問 道路・橋梁の長寿命計画の今後の見込みは。

答 鋸南町全体で橋梁73、トンネル5箇所を5年毎に調査して、優先順位の高い順に進めています。現在の計画では6橋の工事を予定し、トンネルは今年度4箇所的设计を行います。

問 住宅取得奨励金の利用者は町内在住者が多いが、どう考えるか。

答 令和元年の房総半島台風の影響があり、町内の方が新築されたことが要因と思われます。

問 移住者がこの制度を利用したかった場合、予算は残っていたのか。

答 予算の枠内に収まっていたので利用は可能でした。

た。

問 不動産鑑定業務委託89万8千円は、前年度からの繰越にもかかわらず、今年度も未使用な理由は何か。

答 勝山橋歩道橋の鑑定委託料で、歩道部分は国が買収、残地を町が買収する予定でしたが、新たな法人の地権者が現れ、令和4年度に執行できませんでした。ただし交渉が進展したので、令和5年度に再度予算計上しています。

【教育課】

問 生活習慣病検診委託の内容は何か。

答 中学生全員と小学校2年生、6年生対象に血圧測定と血液検査を実施しています。

要望 年間のカリキュラムに組み込み、健康教育や指導に力を入れて欲しい。

問 田子台遺跡文化財の復元が必要ではないか。

答 県の指定文化財で、指定箇所が地表面のため、復元しない方針とされています。

問 GIGAスクールでの端末運用状況及び課題は何か。

答 主に調べ学習等で活用しており、課題は端末活用

問 に個人差があることですか。

答 アフターコロナになって端末の使い方は変わったか。

問 学校に來られない子にタブレット端末を使って授業ができないか検討しています。社会教育バスの使用実績はどうなっているか。

答 令和3年度は年32回でしたが、令和4年度59回と増加しました。主に中学校の部活動や公民館サークル・各種団体での利用です。



遠征や研修に使われている社会教育バス

10/14 オープン！道の駅保田小附属ようちえんを視察



左上:円環状の屋根付歩道「わっか」



右下:プレイカフェ

議会の日誌

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|---------------------|
| 7月19日 | 議員全員協議会 | 9月 5日 | 第5回定例会開会 |
| 7月27日 | 議会運営委員会 | 9月 6日 | 第5回定例会第2日目 |
| 8月 2日 | 第4回臨時会 | 9月11日 | 決算審査特別委員会 |
| 8月 3日 | 千葉県町村議員研修会 | 9月13日 | 議員全員協議会
旧鋸南幼稚園視察 |
| 8月10日 | 新人議員決算研修 | 9月15日 | 第5回定例会閉会 |
| 8月16日 | 環境衛生組合臨時会 | 9月28日 | 議会広報特別委員会 |
| 8月18日 | 議員全員協議会
議会改革等検討特別委員会 | 10月4日 | 議会広報特別委員会協議会 |
| 8月29日 | 議会運営委員会 | | |

編集後記

いつも議会だよりをご覧いただきましてありがとうございます。

早いもので新人議員として半年が過ぎようとしています。何も分からないまま広報特別委員となり、今回は編集後記を任されることになりました。

さて、去る9月13日(水)に議員全員協議会の後に都市交流施設(旧鋸南幼稚園)の視察研修に行っていました。10月14日(土)のオープンに向けて工事も順調に進み、道の駅保田小学校に隣接して流動的な動きができ、バス乗り場なども含めて非常に使いやすい構造になっています。今後の鋸南町の重要拠点になっていく事でしょう。

5人いる広報特別委員は皆それぞれに意見を出し合って頑張っています。せっかく作っても読んでいただけなければ何の意味もないのではないのでしょうか。これからも1人でも多くの方に興味を持って読んでもらえるような分かりやすい議会だよりの編集に努めてまいらる次第でございますので、よろしくご支援の程お願い申し上げます。

最後に今一度、主人公は住民の皆様です。

(秋山柳三)